

まちかど アルバム



白兔、河原町高福

待望の道の駅、2カ所同時オープン

4月21日(金)、国道9号沿い白兔地内に道の駅「神話の里白うさぎ」が、国道53号沿い河原町高福地内に道の駅「清流茶屋かわはら」がオープンし、

地元のみなさんや鳥取市、国土交通省中国地方整備局、工事関係者の出席するなか、記念の式典などが行われました。「清流茶屋かわはら」は木造平屋建てで、その名のおり清流の茶屋をイメージした館内では、地元の食材による料理が味わえるほか、地元の特産品、工芸品を買い求めることができます。一方、「神話の里白うさぎ」は鉄筋コンクリート造りの2階建てで、大きな社をイメージした館内では、新鮮な海産物や地元野菜を販売するコーナーがあるほか、日本海を眺めながら海の幸を味わうことができるレストランもあります。お出かけの際の情報収集やトイレ休憩のほか、お買い物やお食事にも、ぜひお立ち寄りください。



福部町中央公民館

心を耕す生涯学習

5月2日(火)、福部町中央公民館で、耕心大学の開講式が行われました。耕心大学は65歳以上を対象とした趣味の講座で、受講生は、ふるさと探訪をはじめとする5つのコースで互いの親睦を深めながら1年間学び、教養を高めていきます。この日は、午前中に県民カレッジ学友会長の井本幸太郎さんが「これからの人生、“生涯現役”で過ごすために」と題して、認知症にならないための5か条などを関西弁で楽しく講演。昼食後は、佐治谷ばなし保存会の中島嘉吉さんが昔話を語ると、受講生は幼いころの記憶がよみがえったようで、ほのぼのとした様子でした。

用瀬町安蔵川

ゴールデンウィークに太公望が集結

子どもの日の5月5日(金)、第11回を数える恒例行事「用瀬ヤマメ釣り大会」が開催されました。今年は大型連休ということで、例年を上回る134人の参加者があり、親子連れなどが大物を狙って真剣な表情で竿を出していました。25.5斤の大物を釣り上げる人や1人で29匹釣り上げる人もいて、会場は大いに盛り上がりました。



市役所本庁舎

新津ノ井工業団地に企業進出

東大阪市に本社のあるケーブル製造会社の「ブライトン」が、広岡にある新津ノ井工業団地に新たな工場を建設することとなり、4月25日(火)進出協定書の調印式が市役所本庁舎で行われました。式では、同社長の村田誠一さん、竹内功鳥取市長、山口祥義鳥取県商工労働部長が出席し協定書に署名。村田社長は、「平成21年に開通予定である無料の高速道路が、進出を決定した最大の要因」と語り、新たな雇用と生産の拡大に意欲をにじませていました。